

小濱 佳 脱退について

小濱は、昨年の分会大会で「60才以降の再雇用は重点課題だ」と発言していたのではないのか。

管理者による添乗時の理不尽な指摘を口実としたボーナスカットに対して「断固闘う」と言ってきたではないか。しかし小濱は、その闘いを否定しユニオンに加入したのだ。つまり、そのことは会社のボーナスカットを容認する側に立ったのである。

小濱は、東海労脱退の理由を「雇用の不安」としている。自らが会社の攻撃に屈しておいて、自分ひとりが雇用を守れば良いという考えでしかないのだ。

小濱に「雇用不安」を語る資格はない！

ユニオン組合員の皆さん！

ユニオン組合員であっても管理者から些細なミスにつけ込まれ、職場を去った多くの先輩もいた。また現在でも会社の労務管理に悩み・苦しんでいる若手もいる。

私たち東海労は、そのような人達の思いを受け止めて、現在も、そして60才以降も安心して働ける職場をめざして闘いつづけます。

2012年 7月26日

J R 東海労新幹線関西地本大阪第一運輸所分会